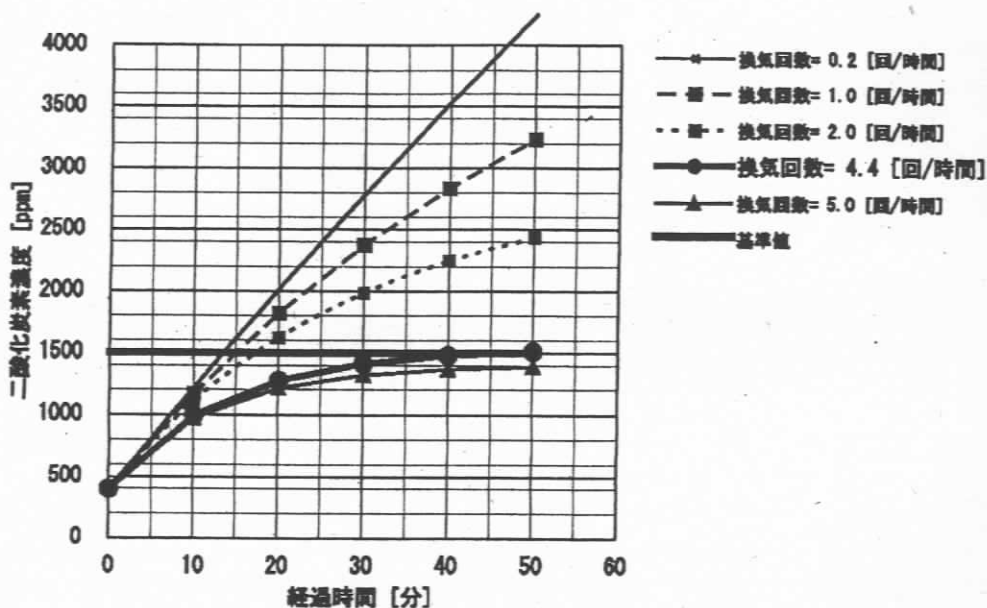


表Ⅱ-1-6 教室の条件

・教室の気積	180 [m <sup>3</sup> ]
・在室者数 教師 (大人)	1 [人]
高校生	40 [人]
・外気の二酸化炭素濃度	400 [ppm]
・初期の二酸化炭素濃度	400 [ppm]

# 換気

(G2A福田・G2C阿部)



表Ⅱ-1-6の条件での二酸化炭素濃度と換気回数との関係が上図です。  
 図から1時間の授業で最低限4回の換気が必要であることがわかります。  
 つまり、常に換気のために最低10cm程度は、窓を開けておかなければならないのです。

## ☆ 換気をしよう!! ☆

寒い冬は、どうしても部屋をしめきりがち。

ところがしめきった部屋の空気は、ほこりやウイルス、私たちの呼吸(二酸化炭素)などで汚れていきます。

また、においや湿気なども起ります。

そのため、換気が大切です。



## < 換気のポイント >

- ・ 窓を2か所以上あけて、空気の入り口と出口をつくる。
- ・ なるべく離れた位置にある窓をあける。